

はじめに

お読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。
 なお、本書に記載のイラストや画面はモデルにより多少異なります。

操作の流れ

- 1 添付品の確認 2
不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
- 2 設置 5
設置する場所を決めます。
- 3 添付品の接続 8
使い始めるのに必要な機器を接続します。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。
- 4 Windowsのセットアップ 15
はじめて電源を入れるときには、自分の名前などを登録して、Windowsをセットアップします。
- 5 お客様登録を行う 20
パソコンが使えるようになったら「お客様登録」を行ってください。
- 6 インターネットに接続する 21
インターネットサービスプロバイダへオンラインサインアップします。
- 7 マニュアルの使用方法 24
添付されているマニュアルの使い方について説明しています。

1

添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱や添付品収納箱には、下記の他にも注意書きの紙などが入っている場合があります。

① 箱の中身を確認する

保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、NECにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

はじめにお読みください(このマニュアルです)

本体

添付品収納箱

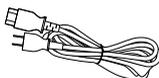
キーボード

② 添付品収納箱の中身を確認する

アース線



電源ケーブル



モジュラーケーブル



マウス



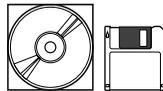


ソフトウェアのご使用条件
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
ソフトウェア使用条件適用一覧
(箱の中身を確認後必ずお読みください)

安全にお使いいただくために
活用ガイド
121wareガイドブック

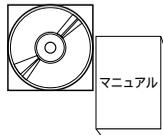
Microsoft® Windows® 2000 Professional
クイックスタートガイド

BIGLOBEインターネットスタートブック
デジカメなら、インターネットでDPE!



バックアップCD-ROM
アプリケーションCD-ROM
BIGLOBEサインアップツールCD-ROM

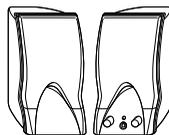
Office 2000モデル¹の添付品(Office 2000モデルのみ)



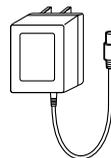
Microsoft® Office 2000 Personalパッケージ²
1Microsoft® Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデル
2「Microsoft Word 2000」、「Microsoft Excel 2000」、「Microsoft Outlook® 2000」、「Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic」、「Microsoft Office 2000 Personal 活用ガイド」(添付)

③ スピーカーセットの収納箱の中身を確認する

スピーカ



ACアダプタ



④ ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイに添付の説明書で確認する

- ⑤ 本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-VM XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「**2** 設置」へ進んでください。

2

設置

設置場所を決める

安全に関するご注意

添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、注意事項を守って正しくお使いください。



警告



感電注意

電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。
感電の原因となります。



感電注意

電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。
ケーブルが傷ついて、感電や火災の原因となります。



発火注意

電源ケーブルやACアダプタの付け根部分を無理に曲げないでください。

ケーブルが傷ついて、感電や火災の原因となります。

注意



発火注意

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

ケーブルを引っ張って抜くと、断線して火災の原因となります。



けが注意

ケーブル類は、つまづかないように整理してください。
けがの原因となります。

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

温度10 ~ 35

湿度20% ~ 80%

(ただし結露しないこと)

平らで十分な強度があり、落下のおそれがない

(机の上など)

× 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

磁気が発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く

直射日光があたる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所

テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。

いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。

できるだけ通風孔をふさがないように15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは.....

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶついたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に扱ってください。

以上で設置は完了です。

次のページの「**3** 添付品の接続」へ進んでください。

3

添付品の接続

接続するときの注意

本機を接続するときは、コネクタの端子には、触れないでください。故障の原因となります。

添付品の接続方法

横置きにして使用する方へ...

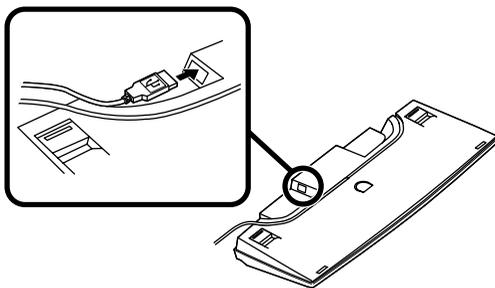
本体を横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして置いてください。また、本体の上に約25kgまでのディスプレイなどを置くことができます。本体を横置きにして使用する場合、ファイルベイ用内蔵機器（CD-ROMなど）を入れ替えることで、利用しやすくなります。詳しくは、『活用ガイド』PART2 周辺機器を利用する「ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け」「フロッピーディスク、CD-ROMなどを使いやすくする（横置きに適した向きの変更）」をご覧ください。

添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

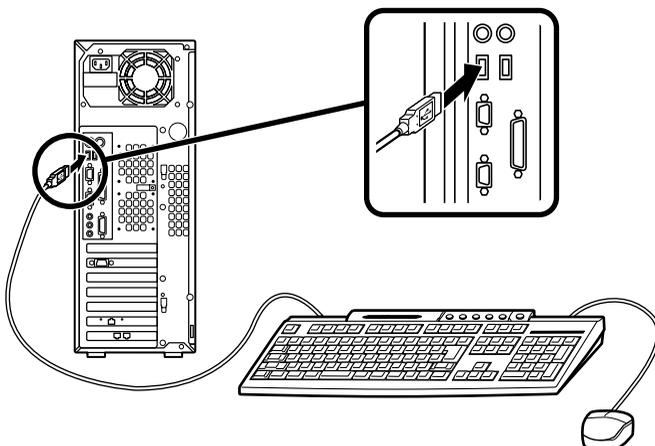
①、②の順番に接続してください。

① 添付のマウスをキーボードに接続する



② キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

本体背面にある2つのUSBコネクタのうち、どちらにでも接続できます。



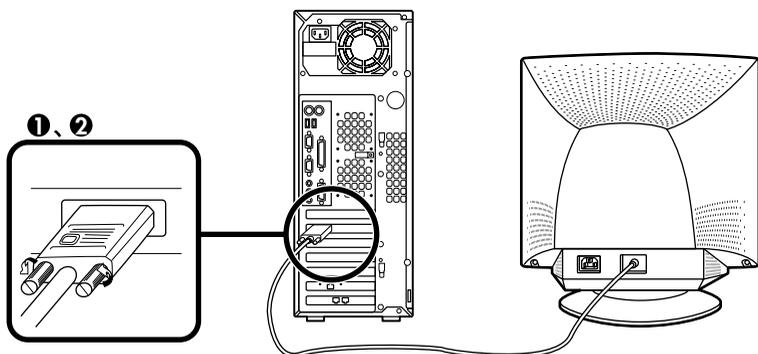
ケーブルストップパを利用すると、盗難・抜け防止に役立ちます。ケーブルストップパの使い方は、『活用ガイド』PART2 周辺機器を利用する」の「ケーブルストップパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

2. ディスプレイを接続する

ここではCRTディスプレイを接続する場合を例に説明します。ご使用になるディスプレイに添付されているマニュアルも合わせてご覧になり、接続作業を行ってください。

① ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタにアイコン(□)とコネクタの形状を確認して接続する

② ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止める

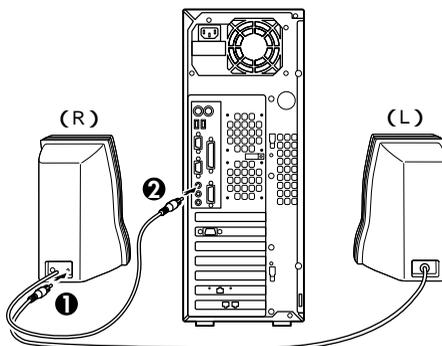


3. スピーカを接続する

①、②の順番に接続してください。

① スピーカ(L)のケーブルをスピーカ(R)に接続する

② スピーカ(R)のケーブルを本体のライン出力端子(ミニジャック)
()に接続する



4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する 必要に応じて次の接続を行ってください。



チェック!!

モジュラーケーブル、リンクケーブル(別売)を接続するときは、プラグの向きに注意してください。

- ・ FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、「モジュラーケーブルを接続する」をご覧ください。
- ・ LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、「リンクケーブル(別売)を接続する」をご覧ください。

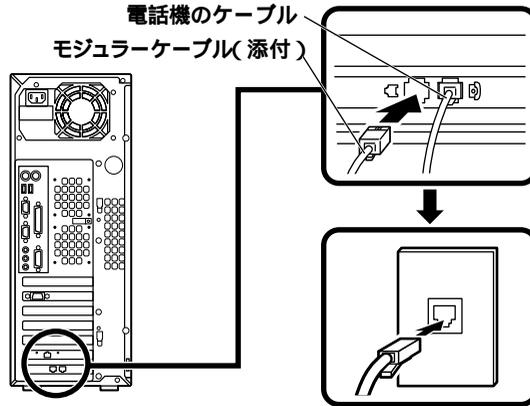
モジュラーケーブルを接続する

- ・ 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線を受けています。
- ・ FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- ・ FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

- ① 電話機につながっているモジュラーケーブルを、壁などのモジュラーコンセントから外して本体背面の()の付いたコネクタに接続し、添付のモジュラーケーブルのプラグを本体背面の()の付いたコネクタに差し込む

- ② 本体背面の()の付いたコネクタに差し込んだモジュラーケーブルのもう一方のプラグを、壁などのモジュラーコンセントに差し込む

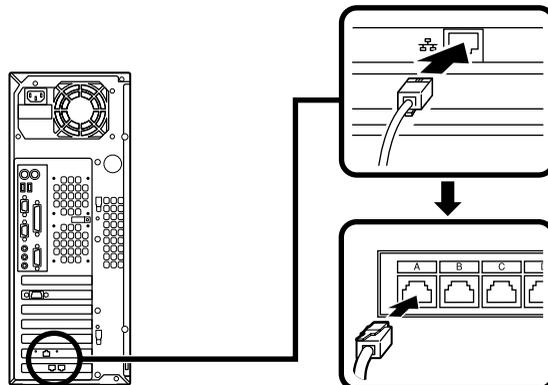
本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



リンクケーブル(別売)を接続する

(LANボードが標準で実装されているモデルの場合)

- ① リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示()にしたがって接続する
- ② マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



5. アース線、電源ケーブル、ACアダプタを接続する

安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。

警告



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となります。

注意



アース線は、絶対にガス管につながないでください。
火災の原因となります。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次のページのイラストを見て①～④の順番に接続してください。

① アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

② ディスプレイの電源ケーブルを接続する

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

③ スピーカのACアダプタを接続する

スピーカにACアダプタを接続する

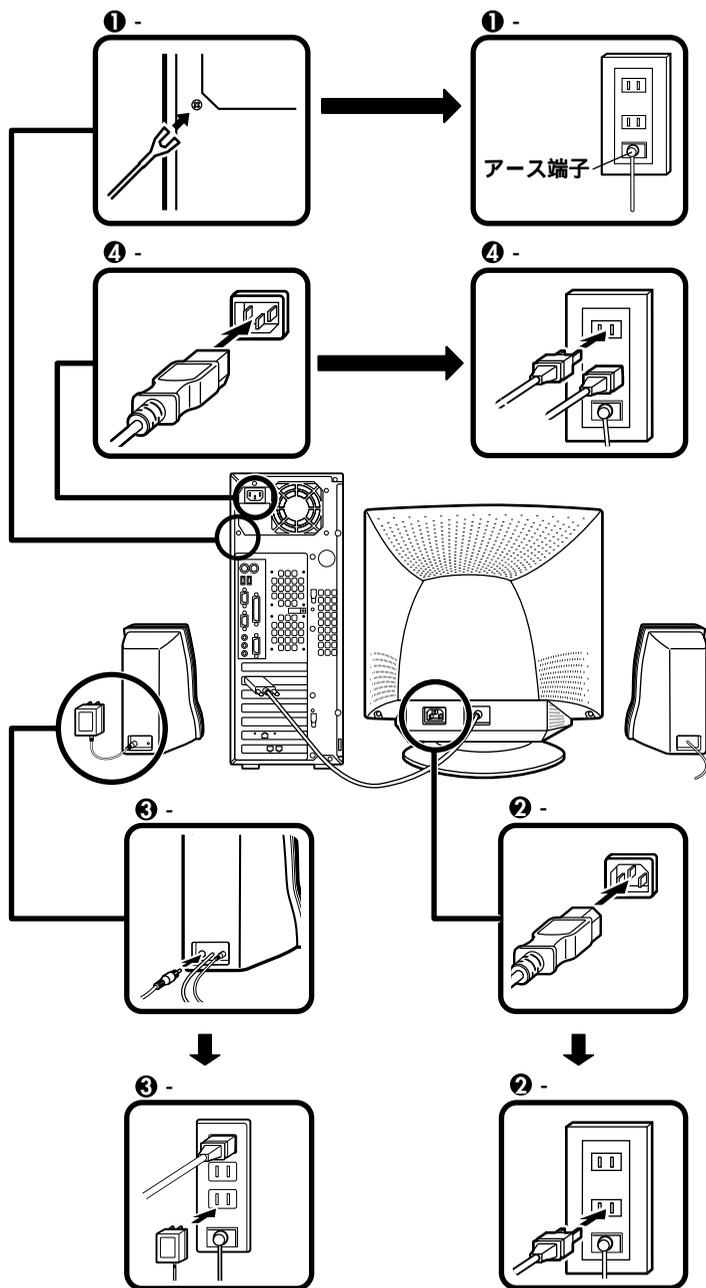
ACアダプタを壁などのコンセントに接続する

④ 本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。（故障ではありません）



以上で添付品の接続は完了です。
 次のページの「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

4

Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、自分の名前などを入力するWindows 2000セットアップの作業が必要です。この作業には全部で30分程度の時間がかかります。

セットアップをするときの注意

- ・ プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない
この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「4 Windowsのセットアップ」から「7 マニュアルの使用方法」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- ・ 途中で電源を切らない
作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

セットアップを始める前の準備

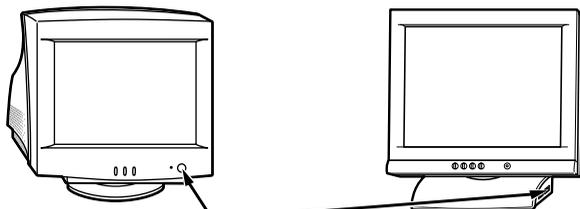
Windows 2000セットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

①～③の順番に電源を入れてください。

① ディスプレイの電源を入れる

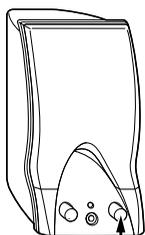
ディスプレイの電源スイッチの位置はディスプレイに添付されているマニュアルで確認してください。



① ディスプレイの電源スイッチの位置(例)

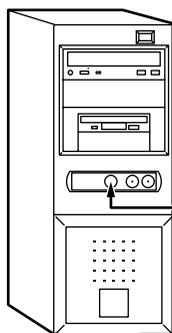
② スピーカの電源スイッチを入れる

つまみを右にカチッと音が鳴るまで回すと電源が入ります。右に回すと音が大きくなります。ここでは、真ん中くらいにしておいてください。



② 電源スイッチ/音量ボリューム

③ 本体の電源を入れる



③ 本体の電源スイッチ

セットアップの作業手順

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、後述のP.19「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

① 「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

② 「ライセンス契約」の画面が表示される

▼をクリックして続きを見る

内容を確認し、「同意します」をクリック

「同意しません」をクリックした場合、セットアップはできません。

「次へ」をクリック

- ③「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後は変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド』「PART4 再セットアップ」をご覧ください。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

「次へ」をクリック

- ④「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力する

コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

Administratorのパスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

「次へ」をクリック

- ⑤「Windows 2000セットアップウィザードの完了」の画面が表示されたら、「完了」をクリック

自動的に再起動します。

- ⑥再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示された場合は、「キャンセル」をクリック

「Windows へのログオン」の画面が表示されます。
手順④で設定したパスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。
途中で何度か画面が変わり、「Windows 2000の紹介」の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

- ⑦ 「スタートアップ時にこの画面を表示」の前のをクリックしてにする
- ⑧ 「終了」をクリック

このパソコンの機能を使えるようにする

- ① 「スタート」ボタンをクリック
- ② 「Valuestarを使う準備をします」をクリック
- ③ 「OK」をクリック
Windowsが再起動します。

電源を切る

電源を切る場合は次の手順で正しく電源を切ってください。

- ① 「スタート」ボタンをクリック
- ② 「シャットダウン」をクリック
- ③ 「次の中から選んでください」の欄で「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリック
- ④ ディスプレイの電源を切る

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- ・ 電源を入れて、表示される画面をチェックする
チェックディスク(CHKDSK)が実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合もあります。)
セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows 2000は起動しません。Windows 2000を再セットアップするか、ご購入元、またはNECにお問い合わせください。
再セットアップについては、『活用ガイド』PART4「再セットアップ」をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- ・ パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押し、強制的に終了する
電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

5

お客様登録を行う

パソコンを使う準備ができましたら、まずは「お客様登録」をおすすめします。

登録方法について

登録方法には、2通りあります。

インターネットによる登録

インターネットに接続できる場合は、NECのパソコン関連統合サイト「121ware.com」(<http://121ware.com>)からの登録をおすすめします。

次の手順で登録ができます。

- ① 画面にあるをクリック

しばらくするとインターネットに接続され「121ware」のホームページが表示されます。

- ② トップページにある「お客様登録」をクリック

「マイアカウントメニュー」が表示されます。

- ③ 「保有商品情報」の「新規・追加登録」をクリック

121コミュニケーションID/Passwordを取得してください。すでに取得済みの場合は取得済みのID/Passwordを入力してください。

以降は、画面の案内にしたがって商品をご登録下さい。

「121ware.com」で登録をしていただくと、お客様一人一人にカスタマイズされた画面でお持ちの商品のバージョンアップ情報やお買い得情報など、お客様にあわせた最新情報をご覧いただけます。また、メルサービス「NEC121wareニュース」では、あなたにジャストフィットした情報をお知らせします。

ハガキまたはFAXによる登録

添付の『お客様登録申込書』に必要事項を記入し、お客様登録センターへ送って下さい。詳しくは添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。



『お客様登録申込書』で登録された場合、登録後に郵送または電子メールにて登録完了通知をお送りします。「121ware.com」の「マイアカウントメニュー」から、「お客様のご確認」を選択することで、ご登録済みのお客様情報、登録商品情報をご覧いただけます。

6

インターネットに接続

インターネットに接続するためには、インターネットプロバイダとの契約を行う必要があります。

インターネットサービスプロバイダ BIGLOBE

このパソコンでインターネットを利用するには、NECが運用するインターネットサービスプロバイダ「BIGLOBE」への入会をおすすめします。

入会特典(入会金無料や入会月通信料無料など)

「BIGLOBEサインアップツール」のCD-ROMや添付の『BIGLOBEインターネットスタートブック』の契約申込書でBIGLOBEに入会すると、入会月通信料無料(BIGLOBE接続料のみ)になります(アクセスポイントまでの電話料金は別途かかります)。

ただし、「あわせて」コースに入会された場合、入会特典を受けられません。

上記以外に入会するコース/入会方法によっては入会特典を受けられない場合があります。

詳細は、添付の「BIGLOBEインターネットスタートブック」にてご確認ください。

入会方法と利用料金の支払方法について

入会方法は、自分でパソコンに登録情報を入力するオンラインサインアップだけでなく、登録情報の入力を電話で代行するサービスや郵送・FAXでも受付けています。また、ご利用料金のお支払いには、クレジットカードだけでなく、口座振替や自動払込もご利用いただけます。

携帯電話向けサービス

BIGLOBEメールをiモードやEZweb、J-SKYwebからチェックしたり、返信・転送したりするサービス(有料)を利用できます。またパソコンで編集した画像を、iモードに表示させるサービス(有料)も実施しています。

BIGLOBEでのサービス内容や、利用料金などについて詳しくは、添付の「BIGLOBEインターネットスタートブック」をご覧ください。

オンラインサインアップツールの紹介

このパソコンには、インターネットに接続するために必要なプロバイダとの契約を、電話回線を利用したオンラインサインアップで行うためのツールが用意されています。

BIGLOBEに入会する

「BIGLOBE」にオンラインサインアップするためのツール、「BIGLOBEサインアップ」が用意されています。「BIGLOBEサインアップ」を使えば、その日のうちにすぐ入会手続きができて、インターネットを利用することができます。

① CD-R/RWドライブに「BIGLOBEサインアップツール」CD-ROMをセットする

「メインメニュー」が起動します。

「メインメニュー」が起動しない場合は、「BIGLOBEサインアップツール」CD-ROMに収録されている下記のファイルをダブルクリックして起動させてください。

<CD-ROMドライブ名>:¥BIGLOBE ¥bsignup ¥index.html

② 「メインメニュー」が起動したら「入会する」をクリック

BIGLOBE メインメニュー **入会金無料! 入会月通信料無料!!**

インターネットをはじめたら、ビッグロップをお選びください。

BIGLOBE サービス紹介 ホーム、インターネットなどサービスがいろいろあります。	「ビッグロップ」のサービス紹介 ビッグロップで提供する豊富なサービスをご紹介します。
サポート情報 03-5561-0000	「ビッグロップ」のサポート体制のご案内 困ったときのお問い合わせ先など、ビッグロップのサポート体制のご案内です。
入会する	「ビッグロップ」の入会方法 ビッグロップの入会手続きはこちら。
キャンセルする	このページを閉じるはこちら

(*)このソフトが同梱されているパソコンで「BIGLOBEサインアップツール」によりご入会していただいた場合のみ、入会月のBIGLOBE接続料が無料となります。電話料は別途がかかります。

注意「入会する」をクリックしてもモザイク選択ダイアログが表示されない場合は「Alt」+「Tab」を押して表示させてください。

- ③ 「ファイルのダウンロード」ウィンドウが表示されたら、「このファイルを上記の場所から開く」を選択して、「OK」をクリック



画面に表示される説明にしたがって入会手続きを進めてください。

ダイヤルアップの設定

プロバイダと契約すると、アクセスポイントの電話番号、ユーザ名、パスワードなど、インターネットをするために必要な情報が送られてきます。インターネットをするためには、これらの情報をWindowsに入力する必要があります。

はじめてインターネットやメールをしようとするとき「インターネット接続ウィザード」が起動します。

- ① 「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されたら、画面の指示にしたがって、必要な情報を入力する
- ② 「ダイヤルアップ接続」の画面が表示されたら、「接続」をクリックして電話回線が接続できることを確認する
- ③ 接続できることを確認したら「切断」をクリックして電話回線が切断されます。

7

マニュアルの使用方法

本機に添付されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。

マニュアル類はなくさないようにご注意ください。なくした場合は『NEC電子マニュアル』『トラブル解決Q&A』『その他』の「マニュアルをなくしてしまった」をご覧ください。



チェック!!

添付のマニュアルに記載されている「121ware.com」に関する内容は、2000年11月現在のものです。

各マニュアルの主な内容

『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

『Microsoft® Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド』

Windows 2000の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を調べたいときにご覧ください。

『活用ガイド』

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)、再セットアップについて調べたいときにご覧ください。

『NEC電子マニュアル』

本機には『NEC電子マニュアル』というパソコンの画面上で見えるマニュアルが登録されています。

『NEC電子マニュアル』では以下の内容について説明しています。

目的に合わせてご利用ください。

- ・ **トラブル解決Q&A**
パソコンを使っていて、トラブルが起きたときや疑問があるときにご覧ください。
- ・ **アプリケーションの概要と削除/追加**
本機に添付またはインストールされているアプリケーションソフトウェアの追加および削除の方法について説明しています。

- ・ ATコマンド
ATコマンドの概要とコマンドの一覧表が記載されています。
- ・ 追加情報
このパソコンについての追加情報、補足説明が記載されています。
「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「追加情報」の順にクリック
「追加情報」が起動します。

『NEC電子マニュアル』の起動方法

- 「スタート」ボタン「NEC電子マニュアル」「NEC電子マニュアル」の順にクリック
- 『NEC電子マニュアル』が起動します。調べたい項目をクリックしてください。

『121wareガイドブック』

パソコンライフをサポートするNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」の紹介とパソコンに関する相談窓口や受講施設、故障時等のお問い合わせ先について記載されています。



ディスプレイのユーザーズマニュアル

ディスプレイがセットになったモデルの場合、使用方法が記載されたマニュアルが、ディスプレイに添付されています。

アプリケーションのユーザーズマニュアル

Microsoft® Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルの場合、Office 2000 Personalのマニュアルが添付されています。ご利用の際にご覧ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNEC/パソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 2000および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10) 本書に記載しているWebサイトは、2000年11月現在のものです。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、BookshelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VirusScanは米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

Intel、Pentiumは、Intel Corporationの米国および他の国々における登録商標および商標です。

nVIDIAおよびGeForce2 GTSは、nVIDIA社の登録商標です。

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の商標です。

Easy CD Creator、Direct CDは、Adaptec, Inc.の商標です。

Symantec Norton Ghost

© 1999 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

BIGLOBEは、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

初版 2000年 12月

©NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。

853-810015-001-A
